

再生医療の実用化に関する ニーズ発表会



ヒト生殖補助医療および
再生医療を支える
周辺工学技術

日本大学次世代工学技術センター 講師
村山 嘉延先生

●日 時：平成 21 年 2 月 14 日 (土) 15:00 ~ 17:45

●会 場：神戸臨床研究情報センター (TRI) 第 1 研修室

●費 用：無 料

●プログラム：

15:00 - 15:10 挨拶
京都大学再生医科学研究所 教授 岩田 博夫先生

15:10 - 15:25 講演①
「細胞自動培養装置の開発」

15:25 - 16:10 講演②
「ヒト生殖補助医療および再生医療を支える
周辺工学技術」

16:10 - 16:55 講演③
「治療抵抗性末梢動脈疾患 (PAD) に対する
再生医療を応用した先進併用療法」

16:55 - 17:45 講演者との個別懇談

体外受精が技術的に可能となりヒト生殖補助医療が発展を遂げているが、より確実に安全な不妊治療のためには卵子の質評価が欠かせない。本講演では、触覚センサ (ヒトの触診を定量化するセンサ) の超高感度化により初めて実現された定量的評価法の概要と、実用化までのハードルについて述べる。



●申 込：下記いずれかの方法にて、財団法人先端医療振興財団・岡 (おか) までお申込下さい。

①メール：t-oka@fbri.org

②FAX：078-306-0752 (裏面申込用紙をお使い下さい)

③電話：078-306-0719

主 催：先端医療振興財団

後 援：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議
関西ティッシュエンジニアリングイニシアチブ
神戸市

Introduction 2

1 3

治療抵抗性末梢動脈疾患 (PAD) に対する 再生医療を応用した先進併用療法：

マゴットセラピー、高気圧酸素療法 (HBO)、
自己骨髄幹細胞による血管新生療法 (先進医療承認) を併用した新治療法

日本医科大学 再生医療科 部長・准教授 宮本 正章 先生

細胞自動培養装置の開発

株式会社大竹 大竹 直 社長

通常、細胞培養はクリーンルーム内で手作業で行われるが、細胞の均質性や培養速度の向上などに貢献する自動培養装置の開発が待たれている。

画期的な盗難防止ネジの技術を持つ (株) 大竹は、より低コスト、省スペースを実現する装置の開発に取り組んでおり…



末梢動脈疾患の患者さんで足の切断しか治療がない様な難治性潰瘍・壊疽に対して、医療用無菌ウジを用いた「マゴットセラピー」、高気圧酸素療法 (HBO)、自己骨髄幹細胞による血管新生療法の併用により、その治療症例の約 87% が自立歩行で退院する再生医療を応用した先進併用療法を実施している。本講演では、その実際について述べる。

再生医療の実用化に関するニーズ発表会 参加申込書



参加申込

送付先 (FAX) : 078-306-0752

お名前

貴社名

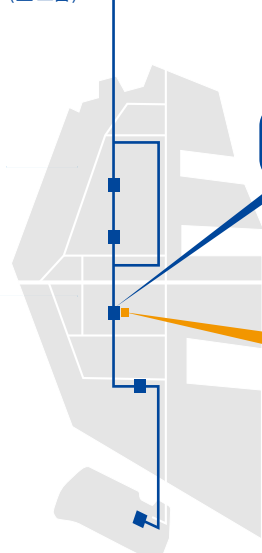
ご所属

お電話

E-mail

アクセス

ポートライナー
(至三宮)



神戸空港

「先端医療センター前」駅

会場

神戸臨床研究
情報センター
(TRI)

○三宮から (約12分)

ポートライナー「三宮」駅から「神戸空港行き」に乗車し、

「先端医療センター前」駅で下車、改札を出て右手 (東側) すぐ

○神戸空港から (約6分)

ポートライナー「神戸空港」駅から「三宮方面行き」に乗車し、

「先端医療センター前」駅で下車、改札を出て右手 (東側) すぐ

お問い合わせ

財団法人 先端医療振興財団
クラスター推進センター・岡

TEL:078-306-0719

FAX:078-306-0752

e-mail: t-oka@fbri.org